

(特非) 北海道グリーンファンド

市民エネルギー情報センター機能構築にむけた北海道型低炭素ライフ普及活動

イベントの延べ参加者数	2,869人
助成活動がメディアに掲載された回数	10回
活動の全体目標に対する達成度	90%



セミナーパネルディスカッションの様子

◆成果と工夫したポイント

●成果

行政や環境関連施設との1年間を通じた連携ができ、低炭素社会構築に向けた協働体制ができつつある。また、事業を通して、当法人への認知が高まり、年度内の講師依頼が7件、次年度も既に8件あり、活動が広がった。

●工夫

住宅等の専門分野の情報は、専門家、行政と連携。日常での省エネ情報は判りやすいコンテンツを作成し実施した。

課題

低炭素社会の実現に取り組むための市民への省エネ情報は、北海道の実態に合致していないケースが多いため、北海道での低炭素ライフスタイルが普及定着しにくい要因となっている。

目標

北海道の家庭の暮らしの実態に即した、市民が必要としている省エネ情報やその発信方法を調査、蓄積し、北海道型市民エネルギー情報センター開設を目指す。

活動内容

移動エネルギー情報センター(旅するエネセン)を活用した、市民へ向けた情報提供に取り組み、得られた市民ニーズや知見を他地域・団体に提供するため、①テーマを絞った省エネエッセを3回開催。②電力自由化に関する学習会4回開催。③旅するエネセンに新たなコンテンツを追加し、札幌市内、道内イベントにおいて移動エネルギー情報センター実施。④各分野における専門家を招いたシンポジウムを2回開催⑤WEBサイトでの情報発信。



自由化に関する理解度への回答の様子

達成できなかったこと

個々の事業に重点を置きすぎたため、具体的な北海道型市民エネルギー情報センターに必要な機能については時間不足で、十分に整理して提示するところまでには至らなかった。

今後の展望

本活動で培った様々な主体との連携を深め、幅広い省エネ、創エネ、制度等、最新情報の提供にもつなげたい。